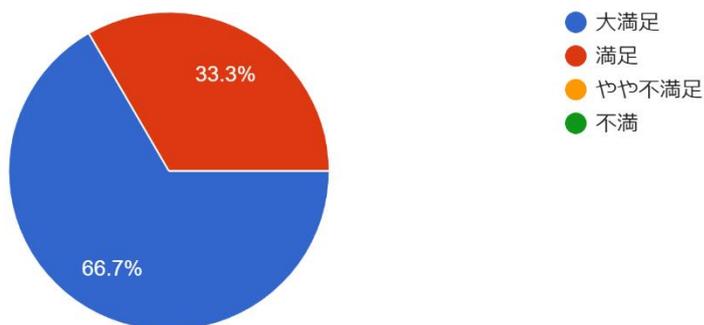


2023年11月2日(木) 応化会大分・延岡地区交流会 参加アンケート

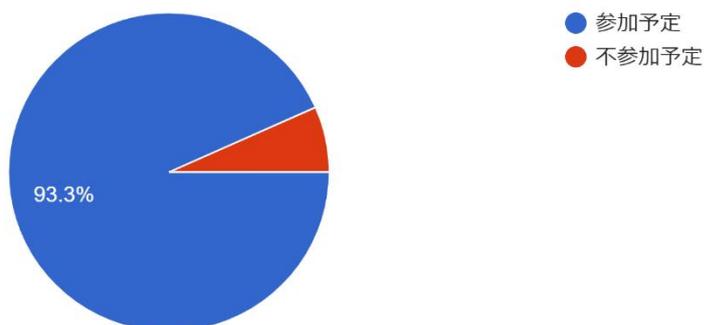
今回の交流会の開催について

15件の回答



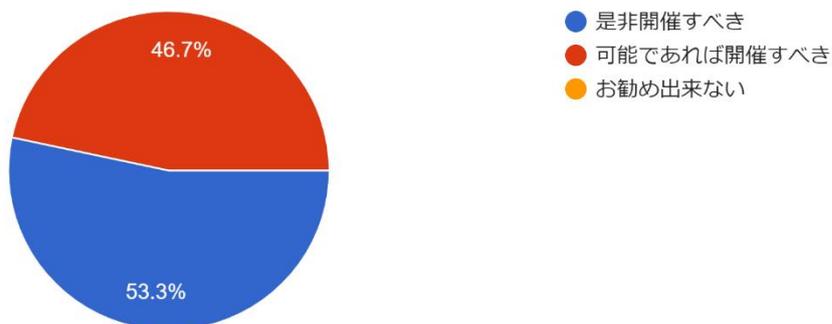
次回の開催について

15件の回答



他の地域でこのような交流会の開催をお勧めしますか？

15件の回答



・ 交流会に参加して良かった点、悪かった点について

他社の応化会メンバーと交流できた点が良かった。今までは他社の応化会メンバーを知る機会がなかった。
普段顔を合わせる機会のなかった近隣の同門生と交流を深める良い機会となった
応化 OB の繋がりができたこと。特に同じコンビナートの応化 OB と繋がりができたこと。
悪かった点は特になく、よかった点は年代が近い人との交流が増えたことです。
地域に新しいつながりができた
大学からは距離も離れ、卒業後から時間も経過しつつある中で改めて繋がりを感じられた点が良かったです。
仕事では関わることの出来ない方々とお話できて良かった。
良かったこと：今まで顔を合わせる機会が無かった宮崎、大分の数社の企業の応化卒の OB・OG が、今回企業の枠を外して早稲田応化卒の仲間として面談・懇親できる場が出来、今後とも九州地域の参加企業・参加者の拡大が図れる可能性が広がったこと。
卒業後、お付き合いする事がなかった同窓生が年齢も会社の垣根を乗り越えて交流する事が出来て良かった。
普段はなかなか交流できない他社の方々と、知り合いになり交流できたところは良かった。意外に応化出身の方がいるのもいい発見でした。
近隣に多くの卒業生がいることを知ることができ、ネットワークが広がった気がする。
世代、立場の垣根を超えて交流することができ、普段聞けないような貴重なお話や講話を聞くことができた点
<ul style="list-style-type: none">・ 社外との交流が出来た点・ 応化出身という枠組みで交流を深めることが出来た点・ 徐々に応化会活動に携わることが出来た点

・ 交流会を企画・運営する場合、懸念点について

取っ掛かりさえあれば、案外スムーズに進められた。他社の応化会メンバーの把握が手間取った。
企画・運営の途中で異動した場合、他のメンバーに負担をかける可能性があることが懸念点。
懇親会以外のイベントを実施する際の企画の運営
日々の業務もある中での交流会となるため、開催時期やホストの負担軽減は考える必要があると思います。
また、会社によっては転勤が多く、卒業生の把握が一番な課題になるかと思いました。
規模、内容によっては開催側が負担となる点、なかなか今回のような場所が確保出来ない点

企画・運営する企業の担当 OB・OG(幹事役)の負担が余り多く成らないようにすべき
今回の交流会が講演会・工場見学・講演会・ゴルフコンペと盛りだくさんで素晴らしい会だっただけに、次回以降の幹事役にとってハードルが高いと思い負担に思ってしまう。無理のない範囲で OB/OG が気軽に参加出来る会を継続して欲しい。
幹事の方の人選
イベントをあまり盛りだくさんにすると、企画側は負担になり、参加者側は時間の制約や、費用が高くなるなど、参加しづらくなるかも知れない。イベントは適度が良いと思う。
強いて言えば、幹事に極端に負担がかかってしまうことは避けたいと思います。
運営者側の労力（社内調整、段取り等）が高い点

・交流会を企画・運営する場合、継続的に開催ためのアイデアについて

アイデアはないが、初回時に定期的に開催する旨の同意をメンバーから得る。
次の幹事を早めに決める。同じ地区の話ばかりだとマンネリ化するので、外部から講演者を招待するなどいかがでしょうか。後輩たちに所属する企業や大分もいいところだよと伝えたいので、興味ある学生がいれば招待してみるとか。（逆に地方に招くのはリスクですかね??）
継続的に参加したいと思えるような会を実施する
その地区の幹事企業を持ち回りとし、主催企業が毎年変わるように運営出来れば継続出来るのでは？
温泉や食事など大分の魅力をテーマに交流会を企画してはいかがでしょう？自分自身もそうですが良い店にあたりとそこばかり通ってしまうため、皆さんのお勧めから新たな隠れた名店を見いだせるかもしれません。
持ち回りにする。
今回参加したメンバーが積極的に宣伝していくこと。可能であれば、各企業や組織に応化会メンバーを把握し声掛けできるシステムを構築頂くこと(プライバシーの範囲内で)。など
毎年似たような内容を企画するとマンネリ化はしてしまうため、その年毎に主題を決めて実施すると良いのではないかと。例えば、今回は初回ということで顔合わせがメインではあったが、次回は企業間の近況報告の時間を長めに設けたり、あるテーマに沿ってディスカッションを実施するのも一考の余地があると思う。

・どのような交流会を期待するか？

交流会が継続される有意義な企画が必要。
あまり気を使い過ぎない交流会。
つながりを継続できるような会

普段近隣企業を見学する機会は少ないため、今回のように工場見学も併せて行えると面白いと思いました。
他社でのOB/OGの取り組みを知ることが出来る会
講演会、工場見学会、懇親会、有志によるゴルフコンペ、有志による観光、登山等
一番は普段お付き合いのない先輩や後輩と一杯やりながらお話しして、仕事や人生のヒントを得たり刺激を受ける事。
少人数での討議を盛り込むことで、関係が深まる。
気軽に参加できる会。今回はゴルフまでセットになっていたが、懇親会だけでも良いかも知れない。
楽しく、学びが多い会。各企業や組織の狭い世界から、少し外を見る機会となる会。
応化卒業生としての縦横の繋がり形成

・講演会や工場見学、懇親会、有志によるゴルフコンペ、観光など、今後交流会を開催する場合、どのような企画があると良いか？

上記でも十分な企画と思うが、1回の交流会で全て行う必要もないかと思う。（各種開催の分散）
いずれも良いと思うが、最近はゴルフやらない人も多いので、会の翌日以降のレクはやる人主体で計画する方がよい。
講演会、工場見学、懇親会
懇親会はやるべきだと思います！
屋外キャンプ、BBQ会、ウォーキング、登山等による懇親の企画
イベントが無くても懇親会があれば嬉しいですが、温泉巡りや酒蔵巡りなども良いと思います。
懇親会と二次会。
今回の一連のイベントの流れは、とても良いと感じました。
<ul style="list-style-type: none"> ・可能であれば工場見学が出来ると良い ・交流会翌日のゴルフコンペは是非継続したい

・交流会を企画・開催するにあたって応化会に対して協力して欲しい点

各委員会からの支援、ご協力は欠かせない。やはり、委員の参加が望ましい。
連絡先の収集
各地域の大学等、公的研究機関等に奉職している応化OB・OGの教職員の紹介(講演会の企画等に有効)
このようなイベントを企画するには若手社員ではなかなか難しい部分もあるので、応化会の協力で企業役員等先輩方をご紹介いただけると幸いです。

資金の援助。誰がいるのか名簿のサポート。

今後の交流会にて弊社主催になる可能性を見据え、ある程度の役職（役員、部長等）でご活躍されている方の情報が欲しい

以上
交流委員会